



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第9号
平成28年12月22日
校長 松丸 晴美

ゴールデンエイジ

例年になく温かい終業式を迎えましたが、寒さはこれからが本番です。

今年度から3学期制となり、22日には、2学期の学校生活や学習の足跡である通知表が手渡され、生徒も一層節目を意識した年の瀬・新年を迎えることができるのではないのでしょうか？

師走に入ると、毎年12日に日本漢字検定協会から発表される「今年の世相を表す漢字」を私は楽しみにしています。

今年1位になったのは「金」という漢字でした。私の予想は大きくはずれましたが、その漢字を選んだ人達の理由は、「リオのオリンピック大会で、日本選手の金メダルラッシュに沸いた」「アメリカ次期大統領ドナルド・トランプ氏の金髪」「東京オリンピックや築地市場移転などにまつわる巨額のお金」「ネットで話題になったピコ太郎氏の金色の衣装」などがあげられていました。

そこで私は、「金」とかけて「石西中の生徒」と解いてみました。その心は？・・・

「金」は、原子番号79の金属元素です。

①柔らかく②光沢があり③展性延性に富み④空気や酸・アルカリに強い、などの性質があります。そこで・・・

- ①柔軟な思考や発想ができる生徒
- ②切磋琢磨しながら、学力や運動技能、人間力を磨き、ピカピカ光る生徒
- ③金箔や金糸のように、将来進む道が、どこまでも広がり、伸びる可能性をもつ生徒
- ④周りに惑わされない信念をもった生徒

また、「金」は英語で「ゴールド」というところから、「ゴールデンエイジ」という言

葉を連想しました。

「ゴールデンエイジ」という言葉は、サッカーの世界で9歳から12歳の年頃に、基本的な技術をみっちり練習すると、習得も早く、将来有望な選手として活躍が期待できるところから使われるようになったそうです。

最近の研究では、他のスポーツにも共通するところがあるばかりではなく、学習にも同じことが言えることがわかってきました。

学習の「ゴールデンエイジ」は、小学校4年生から中学2・3年生までだそうです。

ですから、中学生時代に学習やスポーツに打ち込むことで、その後の記憶の定着や技術が著しく進歩し、しかも習得したことを生涯にわたって忘れることが少ないと言われていいます。

今年はカレンダーの日並びがよく、冬休みは18日間という長さです。「ゴールデンエイジ」真っ盛りの生徒達にはゲームやSNSでのコミュニケーションに多くの時間をかけることなく、改めて自分の目標を確認し、どれだけ達成に近づいているか、努力を怠っていないか振り返ってほしいと思います。加えて、一年の節目となるこの時期には、普段出来ない家の手伝いや家族との会話をたくさんしてほしいと思います。

平成28年申年も残すところあとわずかとなりました。今年も地域の皆様、保護者の皆様には、行事を始め折に触れお手伝いをいただくなど本校の教育活動にご協力いただきました。改めて、感謝申し上げます。来年も変わらずご支援くださいますようお願い致します。

皆様、良い新年をお迎え下さい。

仲間とともに、ダンスを創る

12月14日（水）恒例の校内ダンス発表会が開かれました。会場となった底冷えのする体育館も1・2年生の熱気あふれるダンスと来校して下さった多くの保護者の皆さまの温かい応援で今年も充実した発表会になりました。

これまでの創作ダンスのテーマは「花」「恋」「警察と泥棒」などが好まれることが多く、見ている私たちにとっても今一つ伝わってこないことが多く、参観された保護者からの感想も辛口のものが多々ありました。しかし、昨年度、東京都オリンピック・パラリンピック推進校となり、大テーマを「オリンピック」としたところ、生徒が考えたサブテーマは「開会式」や「サッカー競技での勝利」など、振り付けも見る側もイメージしやすいダンスとなりました。今年のダンスはさらにバージョンアップしていました。特に2年生は「男女一緒に、多人数が、短い制限時間内で創作する」という難しい課題に挑戦し、どのクラスも見ごたえのあるダンスを発表してくれました。保護者の皆様からも良い評価をたくさんいただきました。今年のダンスでは、「和」の音楽や振り付けを取り入れたクラスが複数あり、これも日本の文化・伝統推進校としての取り組みが少しずつ現れてきたのだとうれしく感じました。1月24日（火）に練馬文化センターにて区内34校連合で開かれるダンス発表会には、接戦の末、2年F組が本校代表として出場することになりました。男女が力を合わせてダンスをつくりあげる学校は区内でも2校しかありません。クラスで力をあわせてダンスをさらに磨き、他校の中学生から大きな拍手をもらいたいものです。



1年男子のダンス



1年女子のダンス



2年生のダンス



代表クラス2年F組のダンス

練馬区立中学生駅伝大会と第8回中学生「東京駅伝」

年明け早々におこなわれる冬の風物詩といえば「箱根駅伝」です。「駅伝」は日本が発祥の地と言われ、今から約100年前の1917年に、関西チームと関東チームにわかれ、京都の三条大橋をスタートし、ゴールの上野不忍池までの約508km、23区間タスキをつないで競い合った「東海道駅伝徒歩競争」が最初とされています。

11月26日(土)光が丘運動公園で開かれた練馬区中学生駅伝大会には、本校からも女子1チーム、男子1チームが出場しました。晴天の中、力をふるってピンク色のタスキをつないでいきましたが結果は、女子20位、男子44位でした。個人では、第1区を走った窪田優菜さんが、区間3位になりました。



この大会の記録をもとに、年明け2月5日(土)に味の素スタジアムで開かれる、都内市区町村の中学2年生対抗「東京駅伝」の練馬区代表選手候補者として、2年C組の田中美亜さんが選ばれ、先日、結団式・第一回合同練習に参加しました。

練馬区チームは、本校からも2年前の第6回大会で2名の生徒が女子チームの代表として走りましたが、女子が優勝、男子2位、総合優勝という輝かしい成績を上げています。昨年度は最後まで粘り強く追い上げましたが入賞できませんでした。今年度はぜひ昨年度を上回る実績があげられるよう期待しています。

●第15回練馬区中学校駅伝大会(11/26)

女子チーム第20位(窪田(優)、石田、高橋、小川、前田、田中)

第1区 第3位 窪田優菜

男子チーム第44位(藤村、大井、渡部、光沢、西脇、岸田)

女子個人走 大野 男子個人走 秋山

全国中学生人権作文コンテスト

練馬区／練馬区教育委員会が主催する、平成28年度人権週間行事「講演と映画の集い」が12月13日(火)練馬文化センター小ホールで開催されました。前川区長のご挨拶の後、本校、3年D組 古田 悠 君による人権作文『「働くこと」は「生きること」』の朗読がありました。同作品は、全国中学生人権作文コンテスト都大会318校、46,263編の応募の中から作文委員会賞に選ばれました。

本校から、練馬区大会で表彰を受けたのは以下の皆さんです。(敬称略)

3D 古田 悠、3E 秋庭桃香、3A 遠藤 南、3A 大倉弓佳、3F 大山京太郎、

3B 小林尚史、3A 中川早紀、3D 松崎凜々子、3D 横手梨里菜、3A 米本美菜

部活動の活躍 および 表彰の記録

●卓球部

第 53 回練馬区中学校生徒総合体育大会(11/3)

卓球女子シングルス 第 1 位 吉岡桜子

第 5 位 土浦由貴、鈴木菜々子

●女子バスケットボール部

第 67 回東京都中学校バスケットボール新人大会(12/11) 第 3 位

●新体操

第 36 回東京都中学校新体操学年別新人大会 1 年生大会 (11/19)

種目別クラブの部 1 年生 第 6 位 得点 9.350 田島綾乃

●「中学生の税の作文」 練馬西納税貯蓄組合主催

連合会長賞 3F 窪田優菜

優秀賞 3E 薄井綾香

3E 江口綾音

3E 関 航輝



●中学生「税の標語」 練馬西間税会・練馬西税務署主催

(10 校 1603 名 3127 作品から選ばれました)

優秀賞「納税の バトンをつないで 2020」

2C 佐藤拓海

佳作 「未来への 未来への夢を咲かせる 日本の税」

2D 佐藤あゆむ

佳作 「もっと知ろう 税の役割 大切さ」

2C 小川巧人



●平成 28 年度ジュニアリーダー養成講座会中級修了 (練馬区青少年委員会)

3C 籠利優子、3C 大浦優菜、3C 渡邊七海、3E 金田直穂、3F 村上奈緒、

2E 今泉太一、2B 長谷川智哉、2B 早川誌乃 (皆勤賞)

1B 佐藤嶺至、1E 秋元友奈、1A 籠利響子、1A 新藤響紀 (皆勤賞)

●練馬区読書感想文コンクール (練馬区中学校教育研究会図書館部)

佳作 3B 新井彩夏、3A 藤井航世

2C 濱野愛梨、2D 平本 光

1F 北山晏士、1D 鈴木律子